

仙北市第二次男女共同参画計画の策定にあたり、仙北市男女共同参画推進委員会会長の坂本佐穂さんに、男女共同参画についての思いや取り組みについてお話を伺いました。

満足した自分らしい生き方をするために、家族や仲間とコミュニケーションを深めることが大切



坂本 佐穂 さん (角館町)

若い世代のパパたちが積極的に子育てに関わり、年配のご夫婦が仲良くスーパードで買い物をして、農家の女性が自分たちの力で活動の場を広げています。それぞれがアクティブに取り組む姿をよく見かけられるようになりまし

た。仙北市男女共同参画推進委員会が発足して5年。一人ひとりの意識もこの数年でだいぶ変わって来たと感じています。

このたび、仙北市では第二次男女共同参画計画を策定し、こうして概要版を皆様にご覧いただくことになりました。「性別にとらわれず、自分らしく生きること」と言葉にするのは簡単です。

しかし、社会・学校・家庭・地域、それぞれの活動の場で差別されたと感じたことはありませんか？不公平と思っても我慢していることはありませんか？

この「男女共同参画計画」をヒントに、お互いに認め合い、協力し合い、満足した自分らしい生き方ができるよう、家族や仲間と話し合っ

profile / さかもと さほ：仙北市男女共同参画推進委員会会長。平成13年度より秋田県男女共同参画「あきたF・F推進員」として多方面で活躍中。

用語説明

男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

ワーク・ライフ・バランス

安定した仕事に就けず経済的に自立することができない、仕事に追われ心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさや実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組として仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現が求められています。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の権利の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。

受講者募集中
仙北市地域防災連続講座
「みんなで取り組む地域の防災」

地域の災害を想定し、弱者となりがちな女性・子ども・高齢者への対応について、男女共同参画の視点で課題を抽出しながら実践的な取り組みを行い、防災面での地域の実践力向上を図ることを目的に講座を行い、意識や実践力を高めます。

- 日時／7月9日(月) 13:30～15:00
- 場所／西木温泉ふれあいプラザ「クリオン」多目的ホール
- 仮題「被災地支援の体験談を聞く」
- 講師：NPO 法人秋田パドラーズ 理事長 船山仁氏

- 日時／7月14日(土) 13:30～15:30
- 場所／角館交流センター和室
- 落語で考える男女共同参画「なんとか・あくしょん」は男女差別!? 講師：つるがしま落語会 千金亭値千金 (本名：阪本真一氏)

- 日時／7月21日(土) 13:30～15:30
- 場所／角館交流センター多目的ホール
- 「避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)」を使用して避難所運営を疑似体験しよう・災害用備蓄品の展示…仙北市の災害用備蓄品を展示し、非常時に特に役立つ非常持ち出し品の紹介と説明

- 日時／7月28日(土) 13:30～15:30
- 場所／角館交流センター和室
- 仮題「事故・災害時に備えて救命救急を学び、習得しよう」講師：大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 角館消防署

※定員／7月9日：120人、そのほか：50人 (定員になり次第、募集締め切り)

●応募先／企画政策課 ☎ 43-1112

まちづくり 日記

No.42

『医療を守る①』

仙北市長 門脇 光浩

市立角館総合病院・市立田沢湖病院、そして西明寺診療所・松木内診療所・神代診療所・田沢診療所・田沢湖歯科診療所、これらは市が運営する医療機関で、公設の医療機関です。ザクッと分けると自治体病院の区分に入ります。一方、仙北市内には民間経営の各医院があり、公設の医療機関と連携をいただいで、市民の皆様の健康や命を支えています。

さて2つの病院のうち、田沢湖病院は平成15年に改築を終えました。平成18年には、医師不足から救急病院告示を取り下げましたが、平成20年度から障害者施設等一般病棟制度を導入し、入院患者の増加を図りながら経営改善に努めています。それでも昨年度決算は7千万円以上の純損失です。東日本大震災で原油製品が高騰したこと、常勤医師が少ないために診療収入が増加しないこと、これらが主要因と分析しています。現在は医療局を中心に医師確保活動を展開し、また田沢湖地区の健康と医療を考える会などが病院と連

携して、学習会を共同開催するなど地域医療の在るべき姿を模索しています。

角館総合病院は、職員給与費や材料費などで、昨年度は6千万円以上の経費削減に成功しました。しかし入院患者の大幅な減少で、約4千万円の純損失です。築後40～50年たつて老朽化は進み、新たな医療機器を導入するにも手狭です。このままでは大仙・美郷・仙北の広域医療圏の中で、中核病院の役割を果たすことが困難な状況です。

角館総合病院の改築については、合併以前から何度も議論がありましたが、院内の様々な検討を経て、平成22年の春に新病院基本構想がまとまり、5月・6月の市議会にその考え方を報告することができました。その直後です。仙北組合総合病院(JA秋田厚生連)が、平成26年の開院を目指している情報が入りました。

《次ページへ続く》

かくだてF・C
ロケーション
だより

フィルムコミッションへの協力依頼には、撮影候補地の情報提供、エキストラ紹介、出演依頼、撮影許可協力、ロケーション同行、撮影現場立ち会い、案内、相談など多岐にわたります。

撮影を行う前に必ずといっていいほど行うロケーション・ハントイング(略称・ロケハン)は最も重要といっても過言ではない仕事で、6月19日、仙台に本社を置く民放局のロケハンで角館の案内を行いました。

ロケハンでは、撮影を行う制作側がイメージする内容と、実際の撮影場所などを確認することはもとより、生中継が必要なテレビ番組などの場合には中継車輛をどこに駐車させるかや、カメラのケーブルはどの位置に配線し設置したらいいのかなど、細かなことまで確認をします。



ただし、事前に行ったロケハンで確認済みだった事柄でも、実際撮影に入ると当日の天候や状況で異なった場所での撮影が行われることも往々にしてあります。また、制作側と地元の方々が一堂に会し意見を交えることで、双方とも当初は思いつかなかった展開が可能になる場合もあり、フィルムコミッション冥利につきます機会もあります。

ロケハンには、まさに臨機応変の機転・対応・調整が求められる緊迫(?)した場面です。こうした状況を経て、後日に完成した作品を見ると、万感胸に迫るものがあります。

角館フィルムコミッション (仙北市観光課内)
☎ 43-3352 http://kakunodate-fc.jp/